

私たちの窓は、いつもみなさまに開かれています



今月の色: あじさい

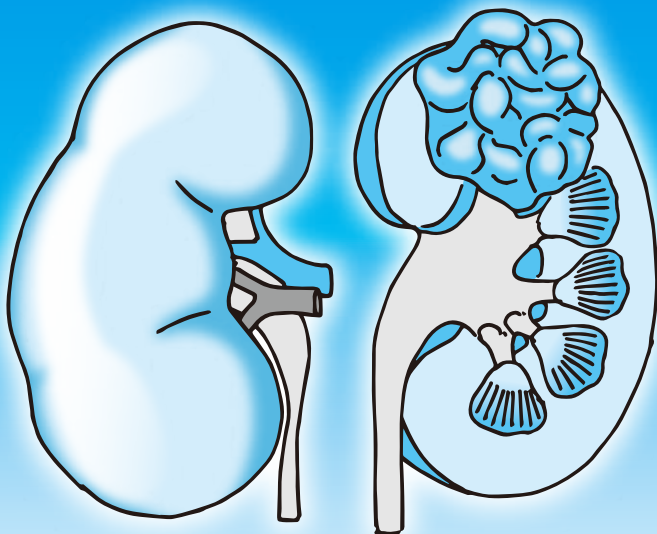
2020年
6月1日発行
No.480

June

6

特集 がんに克つ!⑱ 腎細胞がん P-1

- インフォメーション P-4
- 診療科・センター紹介 泌尿器科 P-5
- 診療を支えるスペシャリスト
がん化学療法看護認定看護師 P-6



病院理念 私たちは利用してくださる方ひとりひとりのために最善を尽くすことに誇りをもつ



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

「がんに克つ！」
18

腎細胞がん

日本人の2人に1人が一生のうちに一度はなるといわれている『がん』。シリーズ「がんに克つ!」では、日本人がかかりやすいがんを中心に、その特徴・最新治療・予防法などを紹介します。

? 腎細胞がんってなに?

腎細胞がん(以下腎がん)は腎実質(血液をろ過し、尿を作るところ)の細胞が、がん化して悪性腫瘍になったものです。腎がんにかかる割合は10万人に約10人で、がん全体の約1%を占め、男性がやや多い傾向にあります。腎がんの発生する要因としては喫煙と肥満があります。また関連する疾患として、遺伝子が原因で発症するフォン・ヒッペル・リンドウ(VHL)病や後天性嚢胞腎こうてんせいほうじんが知られています。

? どのようにして発見(診断)するの?

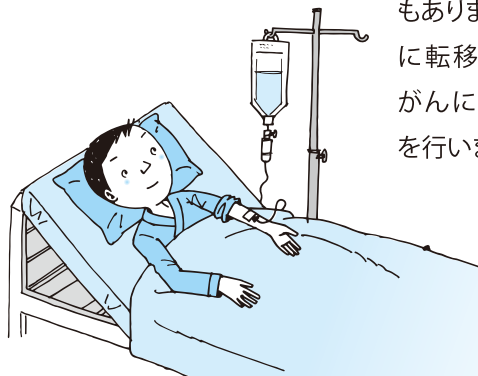
腎がんの発見には健康診断の腹部超音波検査が推奨されています。発見率は0.04~0.1%で、

他の悪性腫瘍と比べて高く、古典的な3つの症状は血尿・腫瘍が触れる・痛みですが、健診の普及により症状を有さない小さな(4cm以下)腎がんの発見率が高くなりました。腎がんが疑われたらCT検査を行い、腫瘍の大きさや位置、リンパ節や他臓器への転移がないか診断します。

? どんな治療をするの?

治療方法は、がんの進行の程度(ステージ)や体の状態などで決定します。標準治療は手術による切除で、その多くは腹腔鏡手術を行います。大きな腫瘍の場合は腎臓を摘出しますが、小さな腫瘍の場合は腎機能を温存する目的で、部分的に取り除く腎部分切除術が推奨されます。しかし、精密検査で転移が発見されたり、肺・脳・骨に転移したがんが先に見つかり、結果として腎がんが見つかること

もあります。このように転移のある進行がんには薬物療法を行います。



？薬物療法ってなに？

現在の薬物療法の主流は分子標的治療やがん免疫療法が標準治療となっています。分子標的治療は腫瘍への血管を遮断することで腫瘍を小さくする治療法 **図1** で、がん免疫療法は免疫細胞を活性化させる物質を投与することで自分の免疫サイクルを活発にしてがん細胞を攻撃する治療法 **図2** です。現在は1つの薬剤で治療を行うよりも2つの薬剤を併用した治療法が推奨されています。皮膚・消化管・呼吸器・内分泌系など全身のあらゆる臓器に副作用が出現するので注意が必要です。担当医から十分に説明を受けてから治療を開始しましょう。

図1 分子標的治療

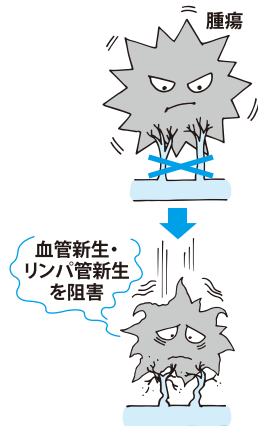
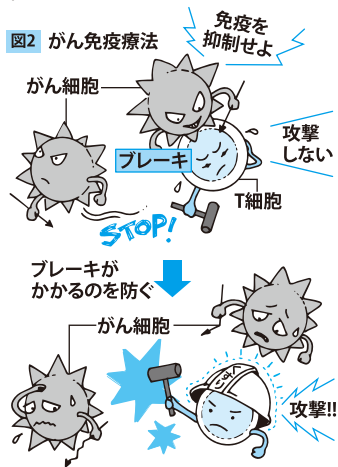


図2 がん免疫療法



文責：泌尿器科 部長 米田 達明

インフォメーション

6月から

新しい専門外来のご紹介

受付28番で「化学療法スキンケア外来」を開設します。がんの治療でお薬を飲んだり点滴をすると、皮膚・爪・毛髪・口のまわりなどに副作用が現れることがあります。（P3の図参照）また予防も大切です。

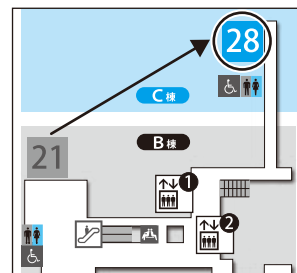
私たちはこの副作用に対処しますので、遠慮なくご相談ください。

※詳しくはホームページ（支持療法科）をご覧ください。➡



診察室移転のお知らせ

6月1日より **血液内科** が、受付21番からC棟2階28番に移転します。お間違いないよう、お願いいたします。



新型コロナウイルスについて

新型コロナウイルス（COVID-19）に関する、当院から最新の情報はホームページでご確認ください。院内感染防止のためにも、ご協力よろしく願います。

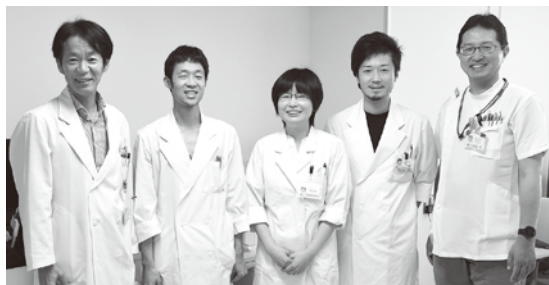


新任 医師紹介



臨床検査科／血液内科
フジサワ シンヤ
藤澤 紳哉
浜松医科大学
（1993年卒）

泌尿器科



進行性腎細胞がんに対する薬物療法

当科は尿路・性器の悪性腫瘍に対して積極的に手術、放射線療法、薬物療法を行っています。2016年10月に導入したロボット支援手術「ダビンチ」を用い、前立腺がんに対して現在までに150名以上に手術を行ってきました。がん制御・尿失禁・性機能の3つの要素で治療成績は良好で、手術件数は年々増加しています。

また薬物療法では数年前から進行性の腎がんや尿路上皮がん(腎盂尿管がんや膀胱がん)に対するがん免疫療法を行っています。2つの薬剤を用いた複合治療により治療効果が高まった反面、副作用の頻度も増していますので、注意しながら最大の治療効果を引き出すよう日々診療にあたっています。転移があって根治が難しい場合でも、がん免疫療法や化学療法などライフスタイルにあった最適な治療を提供していきます。

文責：泌尿器科 部長 米田 達明(写真左端)

診療を支える
スペシャリスト

がん化学療法看護 認定看護師



患者さんの力が 欠かせない免疫療法

腎細胞がんなど、がんの免疫療法で使用する薬剤(免疫チェックポイント阻害薬)は、治療効果が認められる一方で副作用があります。湿疹など軽度のものから、1型糖尿病や重症筋無力症など頻度は少ないですが重症化するものもあり、早期発見が必要となります。そのためには患者さん自身が副作用の症状を観察し、私たち医療スタッフに伝えていただくことが重要です。当院では医師以外に薬剤師も副作用の説明をし、副作用カードをお渡ししています。がん化学療法看護認定看護師は化学療法室で、患者さんに問診票の記入をお願いしたり、副作用の観察や日常生活の指導をしています。副作用などでお困りの場合はご相談ください。患者さんが安心して治療を受けられるように、チーム一丸となってサポートいたします。

文責：看護部 柴崎 幾代(写真)
奥田 希世子



さらに詳しい情報などを、YouTubeの
「聖隷浜松病院チャンネル「白いまど」」で配信しています。



聖隷浜松病院からのお知らせ

初診の方へ

紹介状をお持ちください

紹介状及び予約が必要な診療科(紹介予約制)がありますので、事前にご確認ください。なお、当院を受診される際に、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合は、初診に係る**選定療養費として5,500円(税込)**を別途ご負担いただいています。原則としてかかりつけ医からご予約をお取りいただくようお願いいたします。患者さんから予約する場合は診療科・担当医をご確認のうえ、下記までご連絡ください。

▶ 地域医療連絡室(JUNC) ☎053-474-8801

(月～金曜 9:00～17:00、土曜 9:00～12:00/祝祭日を除く)

再診の方へ

予約変更のご案内

予約変更は、適切な診療提供に支障をきたすおそれがあります。やむを得ず予約変更を希望する場合のみ、下記までご連絡をお願いいたします。

- お手元に診察券・予約券等をご準備ください。
- 時間帯によってはお電話がつながりにくい場合があります。
- 変更の際は医師等に確認が必要なため、お時間や日数がかかります。

▶ 外来受付センター ☎053-474-0100 (月～金曜 9:00～16:45)

産科の受診をお考えの方へ

妊娠検査薬等で妊娠が確認できれば、**紹介状は不要**です。受診希望日の7日～10日位前までに、下記までご連絡ください。

▶ 産科外来(直通) ☎053-474-3067

(月～金曜 14:00～16:45/祝祭日を除く)

面会の方へ

面会時間…月～金曜 14:00～20:00、土曜・日曜・祝日 10:00～20:00

- 院内感染予防の目的で、以下の症状がある方には、面会をご遠慮いただいています。
発熱/咳・痰/原因不明の発疹/嘔吐・下痢

ご来院の方へ

駐車場の収容台数に限りがあり、大変混み合いますのでなるべく公共交通機関(電車・バス)をご利用ください。

医師との面談時間について(ご協力のお願い)

原則、平日(月～金曜)8:30～17:00です。

- 緊急の場合は、この限りではありません。
- 医師の都合(外来診療や手術の延長等)により面談が上記時間外になる場合もありますが、ご了承ください。
- やむを得ない事情がある場合は、ご相談ください。



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

ジョイント・コミッション・インターナショナル認定
日本医療機能評価機構認定
地域医療支援病院

〒430-8558 浜松市中区住吉2-12-12 ☎053-474-2222

発行責任者 院長 岡 俊明